

大切な赤ちゃんを
なくされたかたへ

多気町
2025.4



流産や死産を経験されたかたへ

しばらくのあいだ、
心身ともにつらい日々が続くかもしれません。
このリーフレットは、あなたがサポートを受けられることを
お知らせするために作成しました。

日々の暮らしの中で以下のようなつらさを感じることもあるかもしれません。
特に、出産予定日や妊娠中の思い出の日が近づいたときは、つらさを強く感じる
かもしれません。

- ・これまで通りの生活を送ることや、人と関わることに難しさを感じる。
- ・これまで普通にできていたことが、うまくできない。
- ・記憶力や判断力、理解力が低下したと感じる。
- ・ご夫婦やご家族で悲しみの表現が違う。
- ・様々な場面で、以前のような自信を持てない。
- ・この悲しみがいつまで続くのだろうと思う。
- ・自分を責めてしまう気持ちがある。



こうした反応は「グリーフ（悲嘆）」といって、大切な何かを失ったときに生じる、
自然な反応です。その感じ方は、人によって違います。また、心の痛みが和らぐま
でに必要な時間も、人それぞれです。ご自身のお気持ちに耳を傾け、どのような感
じ方であっても「それでいい」と認めてあげてください。

今のつらい状態はずっと続くわけではありません。
必ず、少しずつ変化していきます。その変化もまた、認めてあげてください。

お子様をなくされたあとの悲しみの反応は自然なものですが、
サポートは必要です。「つらいなあ」と感じたとき、
無理してそのお気持ちを一人で抱え込まなくていいのです。
誰かにそのことを話すだけで、気持ちに変化が生まれるかもしれません。

あなたはひとりではありません。

多気町の相談窓口

多気町 こども課 こども未来係

Tel 0598-38-1154

受付時間 平日 8時30分～17時

よりそいコール

町の保健師がお電話で体調をうかがわせていただきます。

必要に応じて、訪問もさせていただきます。

ご記入いただきましたら、多気町こども課の窓口へ提出ください。

利用 したい ・ いまはしたくない ・ しない

電話番号

相談者名

お電話可能な時間 時 ～ 時 ・ いつでもよい

よりそいギフト

流産死産等で赤ちゃんを亡くされたかたに給付されます。給付には申請が必要です。

対象：令和7年4月1日以降に妊娠の確認をされ、申請日に多気町の住所を有する妊婦（産婦）

給付額：妊婦（産婦）1名につき5万円、胎児1名につき5万円

申請に必要な書類：

- ・ よりそいギフト申請書（HPからダウンロードできます）
- ・ 流産中絶された場合：処置を受けた医療機関の診断書（妊婦給付認定用診断書）
- ・ 死産された場合：母子健康手帳
- ・ 妊婦(産婦)のマイナンバーがわかるもの
- ・ 振込先の確認ができるもの（妊婦(産婦)名義のもの）
- ・ 本人確認ができるもの

必要書類をを持参の上、多気町こども課まで提出、申請してください。

詳しくはこちらをご覧ください（多気町HP）



不育症が疑われる場合

流産や死産を2回以上繰り返している場合、不育症かもしれません。

専門の治療もありますので、不安な場合は医療機関に相談か受診されるか、専門の相談窓口もあります。

三重県不妊相談サポートセンター（不妊・不育症の相談）

Tel 059-211-0041 第1 土曜日10時～16時、第2 以降火曜日10時～20時

〈多気町で利用できる制度〉

詳しくは相談窓口（多気町こども課こども未来係 TEL0598-38-1154）に相談ください。

産婦健康診査

問診、診察、体重、血圧測定、尿検査等を医療機関で無料で受診することができます。受診券が必要です。

産後ケア事業

医療機関や助産師などの心身サポートを受けることができます。宿泊、通所、訪問を受けることができます。利用される際は多気町こども課へ問い合わせください。

よりそいギフト

流産死産中絶された妊婦（産婦）に給付されます。中面をご覧ください。

不育症治療費助成金

町の指定する医療機関において夫婦が受けた不育症治療に係る医療費の一部を助成します。

出産一時金

妊娠満12週（85日）以降以降の流産、死産されたかたが、健康保険や国民健康保険に加入している場合、支給されます。

他、出産手当金の支給、保険料の免除等あります。

制度について、詳しくはこちらをご覧ください。

こども家庭庁HP

「流産、死産等を経験された方へ」

<https://www.cfa.go.jp/policies/boshihoken/ryuuzan>



体験者同士の交流（ピアサポート）について

体験者（ピア）による自助グループサポートグループで、同じ体験をした方と交流し、気持ちを共有することが、大きな助けになったという方もおられます。グループ活動は様々で、自分に合うかどうかは個人差があります。参加を考える場合には、グループのこれまでの活動や運営スタッフの情報なども確認してみてください。